



異動のあいさつ

(2020年5月1日付)

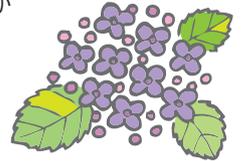


●整形外科 多喜 祥子 先生

5月1日より勤務させていただいています、整形外科の多喜祥子と申します。

三重病院には12年ほど前まで約3年間勤務させていただいておりました。赴任前は三重病院の隣の三重県立子ども心身発達医療センターに勤務していました。昨年度は三

重病院で週1回の外来を担当させていただいていましたが、本格的に三重病院の職員となり、今後は入院や手術にもがんばっていきたいと思っています。新人のような気持ちと懐かしい気持ちとありながらのスタートですが、地域の方々に安心安全な医療が提供できるように努力したいと思っていますので、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。



退職のあいさつ

(2020年6月30日付)



●小児科 貝沼 圭吾 先生

2012年に三重病院着任して以来、1型糖尿病・メタボリックシンドローム・アレルギーを中心に診療にあたってきました。小児糖尿病サマーキャンプ

で出会った敬愛する藤澤院長のもとで、患者さんとご家族のニーズを汲み取り、そのニーズを研究として探究し、成果を発信し、新たな医療を患者さんと共に作っていくことの大切さ、面白さを学びました。またHealthy Children Projectでは、キャンプや市民公開講座を通じて、県内の小中学校や街の皆様との交流の機会を根付かせることもできました。さらに、2年間の厚生労働省への出向では、アレルギー・糖尿病・リウマチと共に人生を歩む皆様に、より豊かな社会生活

を送ってもらうために何が必要かということを一生涯懸命考え、医療体制整備、情報発信、研究・疾患対策の方針策定などを作り上げてきました。

こうした経験から、患者さんとご家族の生活を支える環境づくりを生まれ育った街でしたいという思いが強くなり、四日市にある実家の診療所に帰る決断をしました。すでに貝沼内科での診療を始めつつ、2021年4月からは病児保育室併設の診療所を新たにオープンする準備を進めています。また、水曜と木曜の午後は、三重病院での外来を継続します。これからも患者さんのお困りポイントに耳を傾けながら、何かの役に立てるよう努力します。三重病院の患者さん・ご家族・スタッフには、私自身を強く育てていただいたと、心からの感謝の気持ちしかありません。本当にありがとうございました。皆様の心豊かな生活を心から応援しています。

たくさんのご支援に
心より感謝
します！

コロナに負かぬ
まにごとがんばれ
かえんてます！

全国で感染予防の医療材料が不足していますが、残念ながら、三重病院も例外ではありません。でも、皆様のご支援のおかげで、三重病院は頑張っています。ボランティア団体の方からは、手作りガウンやマスク・フェイスシールドをご提供いただきました!! 三重県外の方々、三重県・厚労省等の行政機関、各企業等からも、多くの支援物資をいただきました(マスク・フェイスシールド・手袋・消毒用エタノール・防護服など)。多くの励ましのメッセージも頂戴しています。本当にありがとうございます!! 皆様のお気持ちをコロナと戦うパワーに変えて、地域医療を支えていきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。三重病院感染対策チーム 鈴木美里(副看護師長)

